

文化・教育分野からの視点

中日新 21 世紀委員会委員、日中文化・スポーツ交流年企画委員長 石川好

日中関係のことは、枕詞で必ず「日中二千年友好の歴史、一時的に不幸な戦争の歴史」と言うのですが、私はまず、こういう言葉の使い方を少し反省したほうがいいと思います。

二千年の友好の歴史といいましても、本当に日本と中国が人民同士のレベルでの交流が始まったのは、僅か 35 年前の国交正常化以来で、大規模な高校生とか大学生とか一般民衆も含めての交流は、おそらくこの 7、8 年ぐらいの間によく始まっているにもかかわらず、「日中二千年友好の歴史」などという怪しい言葉が独り歩きしている。実は日中友好の人の交流はこの 5 年や 10 年から始まった、ということからスタートする必要があると思います。

今から 5 年前の 2002 年、日中国交正常化 30 周年に、日本年、中国年をやろうと、亡くなった小渕恵三総理と朱鎔基さんが合意をし、初めて大きなイベントをやったのです。このときに私も企画委員長として、約 200 近いさまざまな

イベントを企画しました。我々の大きな願いは、トップ同士が同じ場所で、一緒に何かを見ましようということ、たまたま小泉総理が音楽が大好き、江沢民さんも音楽が好きなので苦心をして、小澤征爾さんによる「マダム・バタフライ」を中国北京でやったのです。ところが、両方とも来れなくなってしまったわけです。理由はいいませんが。

それから 5 年後、今年の 4 月には温家宝総理と安倍総理と一緒に、国立劇場で中国の伝統的な民俗芸能を見て楽しむことが初めて実現したわけです。先ほど成田さんが触れられましたが、今年も国交正常化 35 周年記念で、今回は 5 年前から 400 近いさまざまな交流イベントをやっています。

中国あるいは、日本で中国のことを学んでいらっしゃる方から見ると小泉さんは大変評判が悪いと思いますが、全くこれは誤解であります。実は 30 周年記念時の総理も、また、

(12 頁より続く)




日中合弁国際 IT 専門大学の提案 構成

IUIT at Tokyo (国際IT大学・東京)
1年目: 教員 100 (外国人教員50) 学部生 500 (留学生200)
4年目: 教員 150 学部生 2000 (留学生800)
6年目: 教員 250 学部生 3000 大学院 500

IUIT at Shanghai (国際IT大学・上海)
1年目: 教員 200 (外国人教員50) 学部生 1000 (留学生200)
4年目: 教員 300 学部生 4000 (留学生800)
6年目: 教員 400 学部生 5000 大学院 1000

Nov 2, 2007 (c) Daming Wei



日中合弁国際 IT 専門大学の提案 ～キーワード

大企業参画のメリット

- ✓ 人材確保への投資(特に日中共同作業に適用人材)
- ✓ 企業内専門家の活用
- ✓ 産学連携の促進
- ✓ 国際協力の促進

Nov 2, 2007 (c) Daming Wei